

# テロ対処・不審船対処能力の 現状及び問題点等について

平成16年9月6日  
海上保安庁

## テロ対処・不審船対処能力の現状と問題点

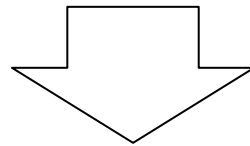
### 海上テロの発生状況等

米 国 駆 逐 艦 コ ー ル 爆 破 事 件

イ ラ ク ・ バ ス ラ 沖 石 油 タ ー ミ ナ ル 爆 破 未 遂 事 件

仏 タ ン カ ー 「 ラ ン ブ ー ル 」 爆 破 事 件

九 州 南 西 海 域 工 作 船 事 件



### 想定される脅威

#### [ 手法 ]

小型船舶を使用した自爆テロ

小型船舶を使用した携行地对空ミサイル（有効射程約5000m）、ロケットランチャー（有効射程約500m）等による攻撃

#### [ 発生場所 ]

船舶交通が集中する海峡部・湾口部・港内、原子力発電所等

## 未然防止対策

### 巡視船艇・航空機による監視等

港湾・航路付近での監視警戒の徹底 等

### 外国船舶に対する立入検査等による水際警戒

情報分析に基づく要注意船舶への立入検査・監視の徹底

### 臨海部の重点警備対象施設の警備

全国の原子力発電所前面海域に巡視船艇を常時配備 等

### 海事関係者等による自主警戒の徹底

自主警備の徹底の指導及び不審情報の提供等の依頼

### 国際船舶・港湾保安法（改正SOLAS条約）の運用

外国から我が国の港に入港する全ての船舶に対する保安措置の実施状況の確認等厳格な入港規制

### 港湾における危機管理体制の強化

五大港（東京、横浜、名古屋、大阪、神戸）に危機管理官を設置（内閣総理大臣による各海上保安（監）部長の任命）等

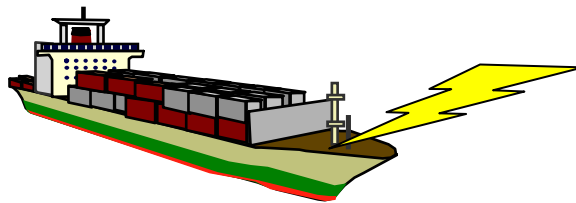
### 大量破壊兵器等の輸送の防止・取締り（PSI）

関係国との連携強化、国内法令に基づく厳格な取締り

### 的確な情報収集活動の実施

# 国際航海・港湾保安法（改正SOLAS条約）の運用

以下の手続により、港湾施設等に危険が生じるおそれがないか入港前に確認

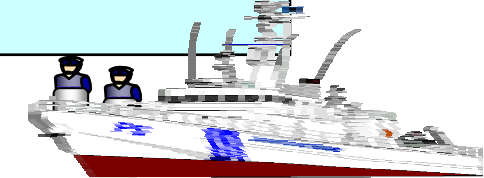


外国から我が国の港に入港する船舶

入港事前通報（保安措置の実施状況をチェック）

- ・乗組員、荷物の状況
- ・船舶保安管理者の氏名等
- ・船舶保安証書の番号等
- ・実施中の自己警備レベル
- ・その他

必要に応じて、船長に対して保安措置の実施状況に関する追加情報を要求 又は 海上保安官が立入検査を実施



海上保安庁巡視船艇

追加情報要求 又は 立入検査を拒否した場合

当該船舶に起因して港湾施設等に危険が生じるおそれがあり、かつ、危険防止のために他に適当な手段がない場合

入 港 禁 止 等

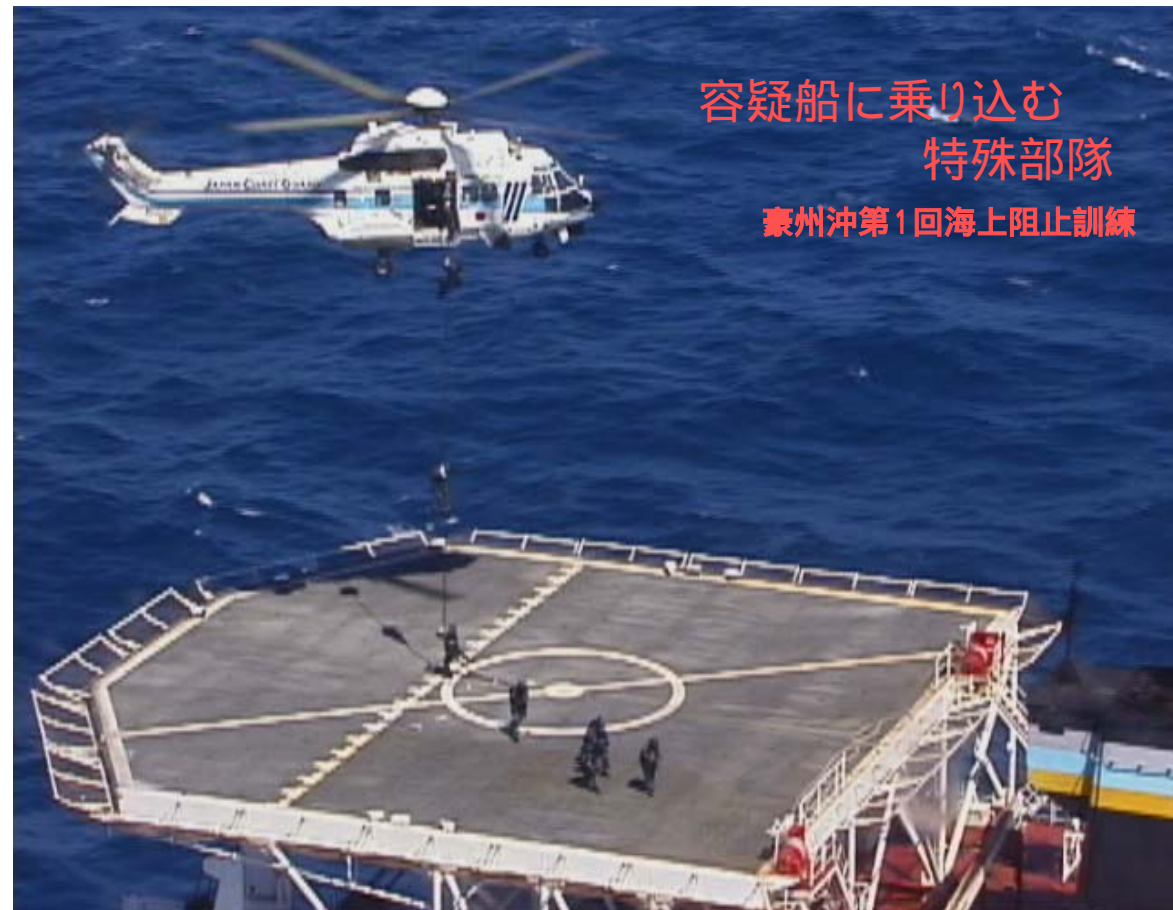
## 大量破壊兵器等の輸送の防止・取締り（PSI）

大量破壊兵器並びにその運搬手段及び関連物資（大量破壊兵器等）がテロリスト等に拡散することを防ぐため、国際法・国内法の範囲で、参加各国が単独又は連携して対処する国際的な取組み。2003年5月、ブッシュ米国大統領が提唱

～ 海上保安庁の取組み～

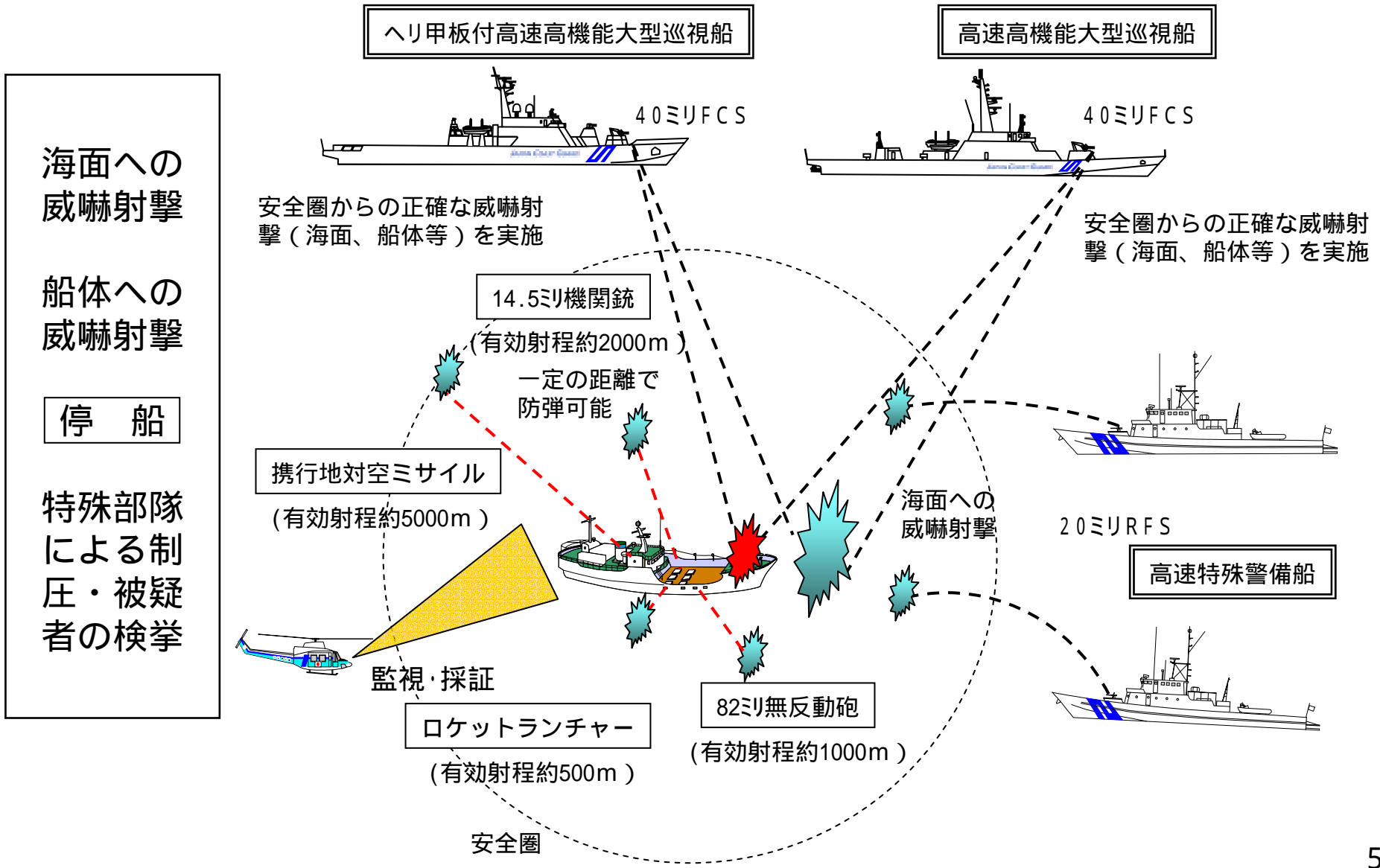
我が国の海上における第一義的な法執行機関として、積極的に参加

- ・ 豪州沖第1回海上阻止訓練に巡視船・特殊部隊を派遣し、立入検査、容疑物資の搜索差押え等を実施（15年9月）
- ・ アジア不拡散セミナーにて訓練実施（16年5月）
- ・ アジア初の海上阻止訓練に参加（16年10月実施予定）
- ・ 関係会合に職員を派遣

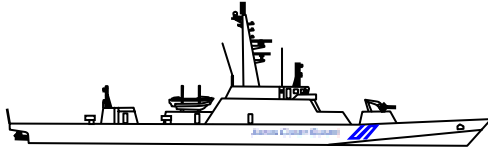



# 発生時の対応

## 高速特殊警備船等による停船措置



## 高速特殊警備船等の整備

	へり甲板付 高速高機能大型巡視船	高速高機能大型巡視船	高速特殊警備船
船型			
総トン数	約 1,800 トン	約 770 トン	約 220 トン
搭載武器	射撃管制機能付 40ミリ機関砲 目標自動追尾機能付 20ミリ機関砲	射撃管制機能付 40ミリ機関砲	目標自動追尾機能付 20ミリ機関砲
速力	速力 30 ノット以上 (時速 56 km 以上)	速力 30 ノット以上 (時速 56 km 以上)	速力 40 ノット以上 (時速 74 km 以上)



## 武器の高機能化



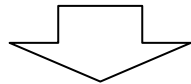
目標自動追尾機能付20ミリ機関砲

### 目標自動追尾機能

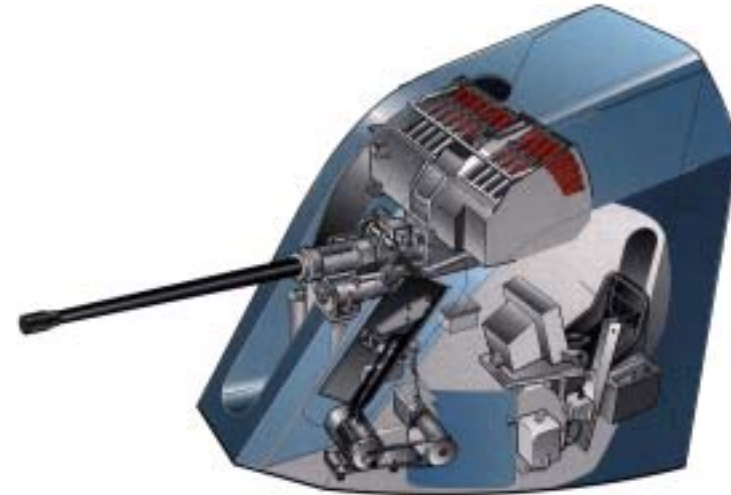
目標自動追尾による正確な射撃を行うため、

- ・風向、風速
- ・船体動揺、船速

等、射撃に必要なデータを処理



目標自動追尾

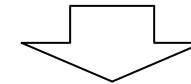


射撃管制機能付40ミリ機関砲

### 射撃管制機能

遠距離の精密射撃を行うため、

- ・大気の状態(気温、気圧、湿度)等のデータを追加
- ・処理能力を高速化



目標自動追尾機能の精度向上



## 特殊部隊による制圧及び被疑者の検挙

能登半島沖不審船事案（11年3月）

沖縄サミット（12年7月）

シンガポール籍貨物船船内暴動事案（12年8月）

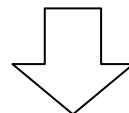
等に対応



## 問題点

多数の警備対象

原子力発電所、石油備蓄基地、在日米軍基地、臨海空港等



警備勢力の分散配備

確度の高い情報: 無

確度の高い情報: 有

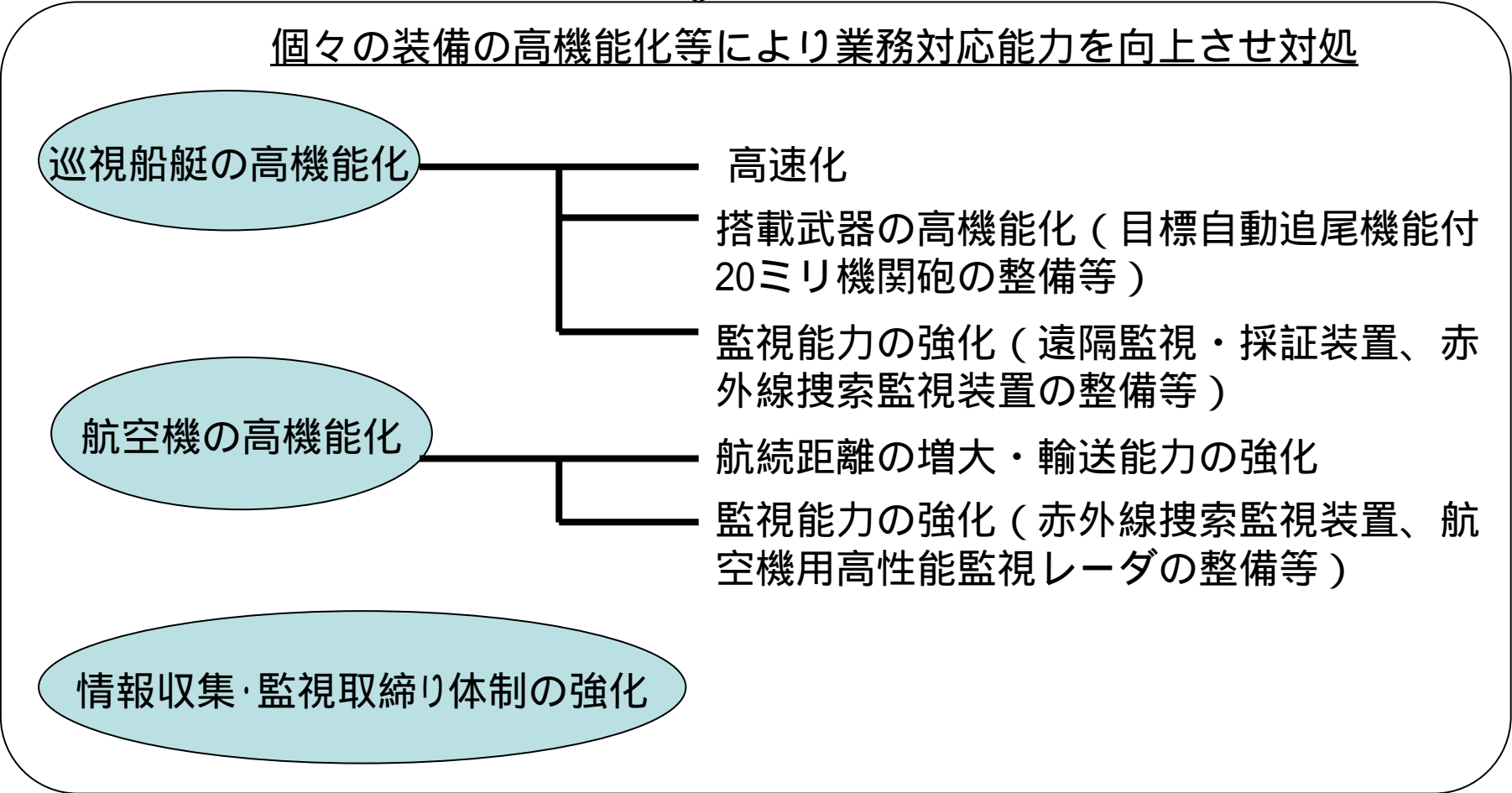
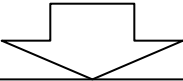
警備勢力の集中に時間が必要

警備勢力の早期集中が可能

確度の高い情報の早期入手・関係機関間での共有が課題

## 改善すべき点（装備、体制等）

重点警備対象施設の警備等に加え、改正SOLAS条約関連業務、PSI等増大するテロ関連業務に的確に対処していくことが必要



# 関係機関の連携についての現状と課題

## 警察・税関等との連携

テロ対策のみならず、密輸・密航対策等  
において連携



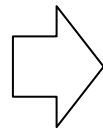
## 海上自衛隊との連携

不審船対処の一環として合同訓練  
の実施

## 海上保安庁と海上自衛隊との連携・役割分担

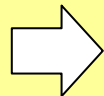
不審船対処・テロ対処

警察機関たる海上保安  
庁が第一義的に対応



警察機関では対処することが不可能又は著しく困難な場合には「海上警備行動」の枠組みに従い自衛隊が海上保安庁と共同して対処

海上自衛隊に対し期待する役割



確度の高い情報の早期入手（関係省庁間での共有）  
広範囲の周辺状況の把握